

## 漁港・漁場・海岸の施設の設計にかかる相談事例

分類項目	漂砂
相談タイトル	水域施設埋没対策について（その2、継続）
相談者	千葉県
相談内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当水域施設の埋没要因として漂砂、飛砂、河川からの土砂供給が考えられ、漂砂対策の検討にあたってはこれらの影響度合いを適切に把握したうえで、漂砂解析シミュレーションを行う必要がある。2021年度相談会での検討内容を基に、データ分析、漂砂解析シミュレーションを実施し、今後の対策の方向性を検討した。（A 漁港）</li> <li>・現地調査結果および関連データ（波浪、深淺測量結果）の分析を行い、本漁港における航路・泊地埋没メカニズムの検討を行った。さらに、過年度検討した対策案の有効性の妥当性について検討した。（B 漁港）</li> <li>・今回は上記2漁港の検討結果に対するコメントをいただきたく相談会の開催を希望する。</li> </ul>
相談会の結果（R04.05.26）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛砂量や河川からの土砂供給量の算定方法が概ね妥当であることを確認するとともに、ライフサイクルコスト算定における維持浚渫コストの扱いやサンドポケットの有用性、ケース比較を行う際の実条件確保の難しさ等について議論した。また、数値計算の精度の限界及びモニタリング結果を踏まえて、常に計算方法を検証・見直し、順応的に漂砂対策の高度化を図っていく重要性等についてコメントした。（A 漁港）</li> <li>・現地調査結果や気象庁 GPV 等の関連データから、波浪条件によって砂面変動の違いが明らかとなった。しかし、高波浪時の流況や直後の地形変化等に不明な部分が残されており、漂砂の侵入ルート・プロセスを特定するには至らなかった。今後、港内埋没に影響する境界条件の収集や港内の重要ポイントにおける漂砂量フラックスを捉える等、調査方法について双方から意見を出し合い議論した。（B 漁港）</li> </ul>
相談会後の検討状況	